

鍼灸学科

アドミッションポリシー

■鍼灸学科が求める学生像

現代の医療は、高齢化、疾病構造の変化、予防医学の重視といった流れの中で、「人間中心の医学」「こころのケアも含めた医療」へと転換することが要求されています。鍼灸学科は、こうした時代の要求に応えるため、以下のような鍼灸師の育成を目指します。

・あらゆる痛みに対応できる鍼灸師 腰痛・肩痛・頭痛など身近な痛みからガン患者の痛みまで、鍼灸師は様々な痛みと向き合います。また厚労省の発表では、国民の健康問題として痛みの訴えが上位を占めています。これらから、痛みの原因を探り取り除くことは、鍼灸に対する社会的ニーズであるとともに鍼灸師の重要な社会的使命と言えます。

・プライマリケア/ 総合診療が理解できる鍼灸師調子は悪いが検査で異常がみつからない方、複数の病気をもつ高齢者、何科を受診すればよいか悩む方など、高度先進医療の現代においても、からだの心配事があるとき身近で相談できる人、すなわちプライマリケアができる医療人が求められています。鍼灸師が学ぶ東洋医学にはプライマリケアのエッセンスがつまっており健康問題に幅広く対応することができます。まさに鍼灸師の社会的使命がここにあると言えます。

・医学の最新情報に明るい鍼灸師鍼灸の効果は年々科学的に研究され、その成果が発表されています。最新、そして最善の鍼灸治療を行うためには、これらの情報を収集し理解できる能力が要求されます。以上の3点を理解し、実現するための意欲に富み努力を惜しまない人材を鍼灸学科では広く募ります。

■具体的な人物像

- ・現代医療における鍼灸の役割を理解し、東洋医学のエキスパートとして国内外で活躍する
- ・他の医療従事者と共同して患者さまの治療に関わっていくことのできる広い知性と人間性を兼ね備えた人
- ・将来ゲノム研究、バイオテクノロジー研究、精神神経免疫学といった最先端の医学と鍼灸医療を関連づけながら研究する意欲を持った人

カリキュラムポリシー

■保健衛生学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部には、放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、運動機能回復、介護・福祉、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことによって、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■鍼灸学科のカリキュラムポリシー

1. あらゆる痛みに対応できる鍼灸師を育成する。
2. プライマリケア/総合診療が理解できる鍼灸師を育成する。
3. 進歩し続ける医療・鍼灸の状況を正しく理解し、安全で適切な治療を提供できる鍼灸師を育成する。
4. チーム医療の一員として活躍できる鍼灸師を育成する。
5. 鍼灸学の確立と発展に貢献できる鍼灸師を育成する。

ディプロマポリシー

■保健衛生学部のディプロマポリシー

幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得し、豊かな人間性・柔軟な科学的思考力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手としての基本的能力を持つ。また各専門分野において将来、指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支えるために、基礎理論から臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習を基盤とした知識・技術を高めることができる。

■鍼灸学科のディプロマポリシー

1. 対象者の健康状態や病的状態を正しく評価・判断し、適切な鍼灸治療を提供できる能力を身につけている。
2. 鍼灸師としての強い責任感を持ち、相手の立場に立って地域医療に貢献しようという高い理想を身につけている。
3. キャリアデザインを持ち、学び続けることができる能力を身につけている。
4. チーム医療の一員として他職種役割を理解し、協力しながら援助ができる素養を身につけている。
5. 鍼灸学の学問体系確立に寄与できるように医学研究に必要な基礎的能力を身につけている。